

◇ 輪之内町の基本理念 未来に夢や希望をもち、生きる力を育むふるさと輪之内の教育
学校の教育目標の具現に徹する学校経営をする

学校の教育目標 ひろい心をもち 豊かに表現できる子

◇ 願う学校像

「楽しい学校」

今日が満足で、明日が楽しみな学校
～ 笑顔・自信・やる気 ～
～ 温かく、明るく、元気で、安心・安全な学校だから、(児童が)行きたい、(教職員が)働きたい、(保護者が)通わせたいと思える学校 ～

◇ 学校課題

- ▼ コロナ対応の影響ではっきりした課題の克服
・心身の健康 (登校しぶりの解消を目指す)
- ▼ 自己肯定感と自己有用感、主体性のより一層の醸成
- ▼ 確かな学力を身に付けさせる学習指導の充実
- ▼ 主体的・対話的で深い学びを実現する教育活動の推進
- ▼ 自発的・自治的な集団づくり
- ▼ コミュニティ・スクール、地域学校協働活動の実効性ある運用

◇ 学校経営の方針(◎2)と重点項目(○6)

- ◎ 学校の教育目標の具現に徹する学校の経営
- ◎ 一人一人のよさを引き出し、生かし、伸ばす意図的・継続的な指導・支援の推進
○健康安全教育 ○学級経営 ○学習指導 ○道徳人権教育 ○家庭・地域との連携 ○働き方改革

◇ 指導・支援の基本＝「ひたむきに取り組む姿を徹底して褒める」

目指す児童の姿 具現の場 評価指標と目標数値

☆豊かな表現力	☆ひろい心	☆たくましい心と体
<p><主体的に学び、仲間と高め合える子></p> <p>◎「主体的・対話的で深い学び」によって「学び合う楽しさ」が実感できる授業実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「仁木小の授業はこれだ」を活用 ・「学びのユニバーサル・デザイン」の実現 ・ICT、教科webシステムの効果的な活用 ・タブレット端末、ZOOM等の有効活用 ・学習の基盤としての言語能力と情報活用能力の育成 ・「聴く」「話す」「ノートづくり」指導の充実 ◎ 家庭学習の充実(「手引き」の活用、強化週間啓発、課題の重点化)と読書の習慣化 ○ 本物体験重視とゲストティーチャーの活用 	<p><自己を見つめ、助け合える子></p> <p>◎ 教育相談の充実(児童理解、いじめ・登校しぶり・問題行動の未然防止)、情報共有、組織対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「よいこと見つけ」の実施(お昼の放送有効活用) ○ 合言葉は「今できる精一杯の活動」 自発的・自治的な集団づくりと創意工夫を生かした係活動・児童会活動の推進 ○ 「挨拶・もくもく掃除」を柱とした校風づくり ○ 「ふるさと・ふれあい学習」の充実 (校区ふれあい運動会、コミュニティ・スクール・フェスタ、探求的な総合的な学習、こ中交流、交流・共同学習等) ○ 考え議論する道徳、福祉・人権教育の推進 	<p><運動に親しみ、みんなで遊べる子></p> <p>◎「生きる力を育む歯と口の健康づくり」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 家庭との連携による望ましい生活習慣の定着(早寝・早起き・朝ご飯、歯磨き、挨拶、手洗い、町情報モラル宣言遵守の推進等) ◎「ぎふ、いのちの教育」の充実(SOSの出し方教育、命を守る訓練、通学班指導等) ○ 体力・運動能力の向上(体育、休み時間等) ○ 「みんなで遊べる子」にするための学級遊びやたてわり班遊びの推奨(教師も一緒に) ○ 栄養教諭との連携による給食等指導の充実
<ul style="list-style-type: none"> ・授業がよく分かる・・・90%以上 ・計画的な家庭学習・・・85%以上 ・積極的な読書・・・80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が楽しい・・・90%以上 ・自己肯定感・有用感・・・90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・1日3回歯磨きの習慣化・・・95%以上 ・積極的な体力作り・・・90%以上

<p><保護者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣 ・家庭学習習慣 ・読書習慣 ・躰 ・耐性 ・自然、文化体験 ・手伝い など 	<p><地域></p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化の継承 ・地域講師や公共施設の活用 ・登下校の見守り隊 ・スクールサポーターなど 	<p><関係諸機関></p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども園や町内小中学校との連携 ・主任児童委員、民生委員の定期訪問 など
---	--	---

地域住民総掛かりで「社会参加できる子ども」を育てるコミュニティ・スクール、地域学校協働活動の推進

学校評価 PDCAサイクルの確立
児童アンケート(12月)、教職員自己評価、保護者アンケート(12月)、学校関係者評価(2月)

◇ 教職員の構え

- ・子どもにとって値打ちがあるかどうかを意識した取組や指導、業務の効率化を進める。【45hを超える時間外勤務：0人を目指す】
- ・教師としての使命感ややりがいをもち、熱意、誠意、創意をもって児童の心に寄り添う。
- ・丁寧な教材研究や指導方法の工夫改善、課題をもった研修会への参加で自己研鑽に励む。
- ・高い人権意識、危機管理意識をもって教育活動にあたり、保護者や地域とのコミュニケーションを密にする。
- ・組織人として明るく支え合い、磨き合える教職員集団にする。“チーム仁木R5”